

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	ICUにおける末梢挿入型中心静脈カテーテル(PICC)挿入に関する検討		
2. 対象患者	平成29年 1月1日～29年 9月30日までに当院ICUでPICCを挿入された患者様		
3. 対象となる期間	2017年1月1日 ～ 2017年9月30日		
4. 実施診療科等	麻酔科学講座		
5. 研究責任者	氏名	橋場 英二	所属 集中治療部
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	記載事項はありません		
7. 研究の意義	PICCは従来型中心静脈カテーテル挿入で見られる重篤な合併症がなく、より安全に使用できる可能性が示唆されており、当院ICUにおいても積極的に導入してきました。しかし、PICCは留置カテーテルの長さが長く、その先端の位置決めなどには基本的にX線透視が必要とされています。そこでX線透視が利用できないICUにおいてPICCを挿入するためには、エコーを使用するなどの工夫が必要です。本研究で、これらの工夫でICUにおいてもPICCを安全に挿入できることを示せば、従来型の中心静脈カテーテル挿入の他にPICCという選択しが増え、安全性が向上し、とても意義があると思われれます。		
8. 研究の目的	ICUで挿入したPICCの先端の留置位置や使用期間、合併症、感染症の有無などを改めてカルテを基に明らかにし、その使用実態を調査します。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	対象期間にICUでPICCを挿入した患者のカルテ情報より、PICCの先端位置の適切性、感染率、使用期間、問題点などの情報を明らかにします。		
10. 個人情報の保護	本研究により得られた個人データは匿名化され統計処理されます。資料は施錠された保管庫に保存され、学会および論文発表が終了した後、適切な期間保管された後、全て適切に廃棄されます。また、対象者の方から拒否の申し出があった場合は、データは使用致しません。ただし、すでに匿名化のうえ解析済みの場合や、研究結果を公表済みの場合は、そのデータを修正することはできませんのでご了承ください。		
11. 利益相反に関する状況	特にありません。		
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 集中治療部 橋場 英二		
	電話	0172 - 39 - 5322	FAX 0172 - 39 - 5323